

KONAN サーティフィケート 2022年度 認定学生

読書習慣を基盤とし、探求心と情報探索力に磨きをかける
上級の認定を目指し、表現する力・企画を実現する力

ライブラリ サーティフィケート



2級

佐伯 菜奈実 (文学部)

西山 天美 (マネジメント創造学部)

西田 純 (経済学部)

他1名



3級

池元 琴羽 (文学部)

井上和樹 (知能情報学部)

植野 浩任 (知能情報学部)

大山 陣 (知能情報学部)

上村 颯太 (知能情報学部)

白方 雄貴 (知能情報学部)

鈴木 ことね (知能情報学部)

高木 勇翔 (知能情報学部)

玉野 圭一郎 (知能情報学部)

都出 若那 (知能情報学部)

三宅 夏輝 (知能情報学部)

八重垣 遼 (知能情報学部)

安田 奈央 (知能情報学部)

安田 茉 (知能情報学部)

山本 瀧聖 (知能情報学部)

山本 凌大 (知能情報学部)

吉村 優佑 (知能情報学部)

増原 里奈 (文学部)

清水 さゆり (マネジメント創造学部)

堂馬 美帆 (文学部)

定形 柊花 (文学部)

他8名

今年度ライブラリサーティフィケートでは、合計98人の学生がエントリーし、それぞれが認定を目指して活動し、33人から認定のための申請を受け付けました。

ライブラリサーティフィケートでは、読書活動を中心に、書籍に関する幅広い活動をとおして、読書習慣及び情報探索力・表現力・行動力・企画力などを身につけた学生たちを評価し、認定しています。

今年度各級の要件を満たした33名の学生たちは、まだまだ大変なwithコロナの社会的状況の中、主体的にライブラリ分野の活動に取り組んできました。継続的に読書続け、さらに読書記録や書評を書くことでアウトプットし、書の知識を取り込みながら書く力も伸ばすことができたのではないかと思います。また、図書館が主催するガイダンスや様々なボランティアにも参加、積極的な活動を続けてきました。目まぐるしく変化する社会、その困難のなか前を向き自ら行動した皆さんは、エントリー時より大きく成長しています。今後もこの経験を活かして活躍してくれるものと信じます。図書館は皆さんを応援しております。

(図書館)

KONAN サーティフィケート 2022年度 認定学生

国際交流プログラムをとおして、国際的な文化の異なりを理解し、語学
力・コミュニケーション能力、「グローバル人材」としての総合力

グローバル サーティフィケート



1級

澁谷 知子 (文学部)	中村 ゆきの (経済学部)	伏見 祐輝 (知能情報学部)	新見 咲良 (マネジメント創造学部)
田嶋 友葵 (文学部)	吉里 真理菜 (文学部)	西野 朋花 (経営学部)	他1名



2級

川向 香奈 (文学部)	西山 亜海 (文学部)	茨木 颯介 (経済学部)	川島 夏帆 (マネジメント創造学部)
木村 晨一 (知能情報学部)	塩谷 瑠緋 (マネジメント創造学部)		他1名



3級

池元 琴羽 (文学部)	入谷 日奈美 (理工学部)	駒井 伶哉 (理工学部)	大東 怜花 (文学部)
吉村 那奈美 (文学部)	上村 優以花 (経済学部)	西本 太一 (経済学部)	大宮 脇香子 (マネジメント創造学部)
高田 萌絵 (文学部)	玉元 沙和 (文学部)	松尾 和佳 (文学部)	永塩 里佳 (経済学部)
荘司 真子 (経営学部)	田村 麻乃華 (文学部)	勅使河原 梨乃 (文学部)	堂馬 美帆 (文学部)
久保 悠香 (文学部)	定形 柊花 (文学部)	坂野 百合 (経済学部)	吉井 遇瑠 (法学部)
田中 みゆ (法学部)	厚澤 雅記 (経営学部)		他2名

今年度グローバルサーティフィケートでは、合計221人（昨年度比340%）の学生がエントリーし、それぞれが認定を目指して活動し、39人（昨年度比279%）から認定のための申請を受け付けました。

グローバルサーティフィケートでは、本学の国際交流プログラムをとおして、国際的な文化の異なりを理解し、語学力・コミュニケーション能力を習得したうえで、「グローバル人材」としての総合力などを身につけた学生たちを評価し、認定しています。

2022年度は海外からの留学生の来日が再開し、Global Zone *Porte* (ポルト) ではたくさんの甲南大学生が留学生と交流することができました。また海外への留学プログラムについては2021年度から一部再開していたところですが、2022年度からは協定校留学を中心にさらに本格的に留学が再開し、また、短期留学体験型集中科目「エリアスタディーズ」についても渡航（・COIL併用）型で実現することができました。こうした海外渡航によるプログラムはもちろんのこと、ここ数年で普及したオンラインでの国際交流・留学に引き続き取り組んだ学生も多く、部活や課外活動等で時間的制約の多い学生や、海外渡航に不安を抱える学生のみなさんにもグローバルな活動のチャンスが広がりました。

特に1級に認定されたみなさんは、これまでどおり渡航型の留学プログラムによる認定だけでなく、海外渡航をしなかった学生のみなさんも、国内での積極的な活動やオンライン留学等により見事、1級の申請要件を満たされました。みなさんそれぞれに合った「FITなリユース」を見つけて取り組まれた成果だと思います。1級認定、おめでとうございます。

また、2級・3級に申請されたみなさんの中には、グローバルゾーンで行われる「LOFTの英語アクティビティ」や、学内外のゲストスピーカーからお話を聞く「グローバルイベント」、不要となったメガネの回収を通じて国際協力に取り組む「メガネリサイクルプロジェクト」等の活動実績をもとに、低年次からサーティフィケート認定された方がたくさんいらっしゃいます。ぜひ、今回のサーティフィケート認定をさらなる活動のきっかけにいただき、次年度以降、より上位の級に挑戦してください。甲南大学ではこれからも、みなさんの国際交流・留学の活動をサポートしていきます。

(国際交流センター)

KONAN サーティフィケート 2022年度 認定学生

意欲的にボランティア・地域連携プロジェクトに取り組み、
卓越した行動力と課題解決力及び企画力

ボランティア サーティフィケート



1 級

川 村 美 夢 (文学部)



2 級

入 谷 日奈美 (理工学部)

稲 生 壮 真 (法学部)



3 級

蜷 川 楓 馬 (文学部)

福 浦 晴 英 (知能情報学部)

福 本 航 士 (知能情報学部)

松 居 ももか (経済学部)

阪 本 萌 衣 (法学部)

上 間 拓 人 (文学部)

三 井 彩 樺 (文学部)

今年度ボランティアサーティフィケートでは、合計104人の学生がエントリーし、それぞれが認定を目指して活動し、10人から認定のための申請を受け付けました。

ボランティアサーティフィケートでは、ボランティアや地域連携において必要となる知識や探究心、情報発信力、企画力、課題の発見力や解決力などを身につけた学生たちを評価し、認定しています。

今年度も引き続き新型コロナウイルス感染症の影響がありつつも、ボランティア募集を中止していた地域団体や自治体なども動き出している様子が見受けられました。それに伴い、認定者の皆さんは学内プロジェクトや学外活動に積極的に参加し、地域社会に貢献されました。

しかし、まだまだ従来通りとはいかず、福祉系のボランティアや、神戸ルミナリエの募金活動などは中止されたままです。ただ、「このような状況下だからこそ地域に元気を与えたい」と、自ら地域貢献活動を企画し、実施する場面も多くみられました。

コロナ禍を過ごしてきた学生ならではの視点や発想等をふまえ、自ら課題を発見し解決する力を発揮する姿は、ボランティアサーティフィケートで求めている「卓越した行動力や課題解決力」につながる姿勢であり、皆さんの今後の生活の中でも必ず生きてくることと思います。

皆さん一人ひとりの取り組み・熱量が、周囲に伝播し、新たな活動仲間につながることを期待しています。

以下、活動例

- ・地域と繋がる活動助成金プロジェクト
- ・とっとりキャリア教育学生プロジェクト
- ・兵庫県警察防災学生ボランティア
- ・硯水プロジェクト
- ・地域連携センター学生スタッフ (なんティア)
- ・神戸ユースネット学習支援ボランティア
- ・関西湾岸SDGsチャレンジ
- ・ユースボランティアPOPPO
- ・伊丹市こどもサポーター 等

(地域連携センター)

KONAN サーティフィケート 2022年度 認定学生

スポーツ・健康に関する知識を深め、自己の健康管理に関する習慣をもつとともに、リーダーシップ、スポーツマネジメント、健康管理等の能力

スポーツ サーティフィケート



1 級

川 西 詠 (経済学部)

入 谷 日奈美 (理工学部)

衆 田 奨 (経済学部)



2 級

宇 野 泰 正 (法学部)

伊 井 優 華 (法学部)



3 級

田 村 麻乃華 (文学部)

下 舞 妃 海 (マネジメント創造学部) 堂 馬 美 帆 (文学部)

下 陸 直 晃 (経済学部)

今年度スポーツサーティフィケートでは、合計95人の学生がエントリーし、それぞれが認定を目指して活動し、9人から認定のための申請を受け付けました。

スポーツサーティフィケートでは、さまざまなスポーツ活動（体育会、学内イベント・プログラムへの参加等）をとおして、リーダーシップ、スポーツマネジメント、健康管理能力などを身につけた学生たちを評価し、認定しています。

今回、スポーツサーティフィケート授与者として認められた学生達は、競技スポーツ、健康スポーツ、レクリエーションスポーツをはじめさまざまな領域でのスポーツ活動や自己の健康のための運動に、真剣に取り組みました。

学内でのスポーツイベントを企画し実行した学生、健康・体力増進のために積極的にスポーツや運動に取り組んだ学生、体育会に所属しながら地域でのスポーツボランティアを積極的に行った学生もいました。

今年度は例年より申請者数が減少しましたが、コロナによる行動制限が緩和に向かっているため、より多くの学生が本サーティフィケート活動へ挑戦し、認定されるよう広報活動やコンテンツの充実にも力を入れて取り組んでいきたいと思ひます。

そして、次年度以降も真面目にスポーツや運動に取り組む学生を多角的に評価して、その功績を称えたいと思ひます。

(スポーツ・健康科学教育研究センター)

KONAN サーティフィケート 2022年度 認定学生

様々な学習サポートと自己の能力向上に取り組み、
課題解決力及びリーダーシップを身につける

ラーニングサポート サーティフィケート



1 級

中 村 ゆきの (経済学部)	松 田 将 (経営学部)	吉 内 廉 人 (知能情報学部)
小 西 祐太郎 (経済学部)	嶋 野 実 穂 (経済学部)	橋 本 東 奈 (経済学部)
原 なつみ (経済学部)	山 路 広 大 (経済学部)	中 田 朱 音 (法学部)
高 見 玲 音 (経営学部)		



2 級

小松崎 大 聖 (知能情報学部)



3 級

奈 良 真 鳳 (理工学部)	村 上 剣 斗 (文学部)	鷹 見 建 吾 (経済学部)
馬 場 一 瑛 (経済学部)	前 田 愛 奈 (経済学部)	増 本 高 (経済学部)
片 山 拓 哉 (法学部)	下 山 翔 矢 (経営学部)	中 野 好 一 朗 (経営学部)
萩 尾 紡 希 (経営学部)		

今年度ラーニングサポートサーティフィケートでは、合計51人の学生がエントリーし、それぞれが認定を目指して活動し、24人から認定のための申請を受け付けました。ラーニングサポートサーティフィケートでは、学内にある学生によるさまざまな学習サポート活動に率先して挑戦し、また自己の能力向上に継続的に取り組むことでラーニングサポーターとして成熟し、成長した学生たちを評価し、認定しています。

今年度は、学生の自主的な組織「ラーニングサポートチーム(LST)」が始動2年目を迎え、ラーニングアシスタント(LA)に代表されるような既存の取り組み内での活動だけでなく、LSTにおいて新たな企画の実施や課題解決のためのミーティング実施など主体的な活動が増え、そのような活動の中でリーダーシップを伸ばした学生も増えました。そのため、1級取得者は対前年比250%の10名となりました。

申請した学生が行った主な活動は、①LAとして授業における受講生の学習支援、②入学前教育でのファシリテーション、③入学直後の新入生サポート窓口の企画・実施、④LST内の交流を深めるための運動会の企画・実施など、「優しさ」や「利他の心」から成る甲南らしい後輩思いの温かい心による活動でした。特にLSTとして活動した学生たちは、自主的に各種企画の発案・実施や課題の発見、解決策の検討を行いました。

認定学生たちは、それら学習支援活動を通じてサポート能力を実践的に向上してきた中で、「教えることで学ぶ(Teaching is learning)」として学びが深まり、コミュニケーション能力や、挑み続ける主体的な活動力、発信力も育まれました。

(教育学習支援センター)